

証券コード

5020



JXホールディングス

2015年度 第1四半期決算説明資料

取締役 常務執行役員 大場 邦光

2015年7月31日



エネルギー・資源・素材の^{みらい}Xを。

JXホールディングス株式会社

目次

2015年度第1四半期決算

- 事業環境 3
- 2015年度第1四半期決算概要 5

2015年度上期見通し

- 2015年度上期見通し 11
- 主なトピックス 17
- 前提条件 18
- 感応度 19

取締役 常務執行役員
大場 邦光

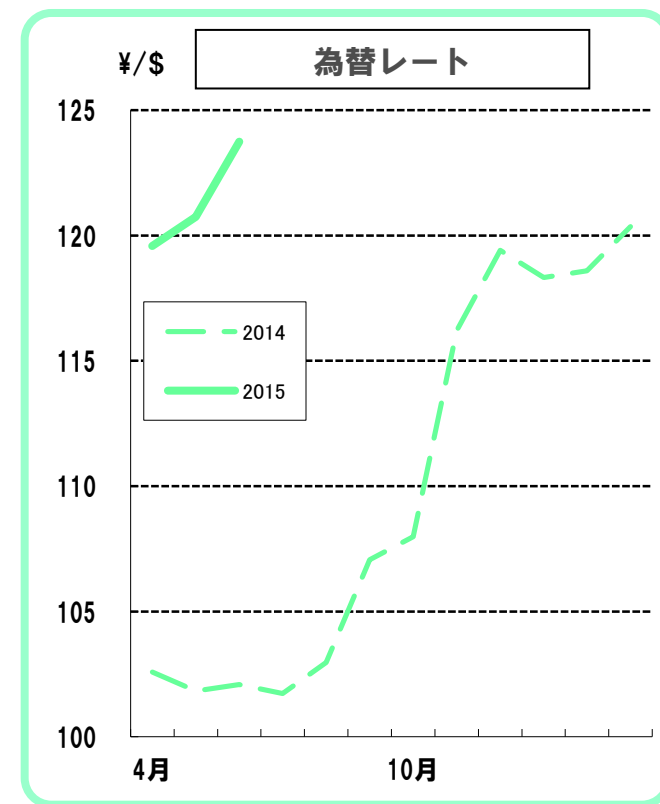
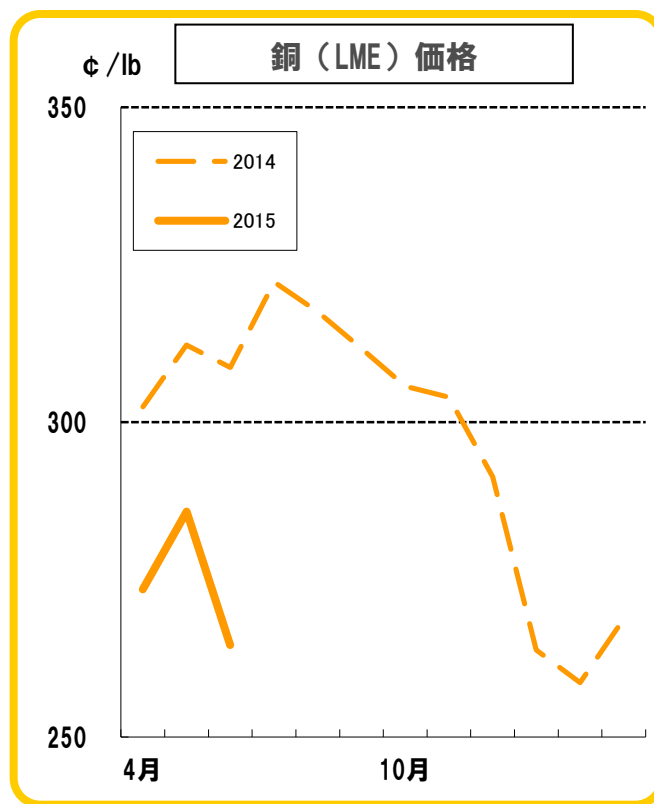
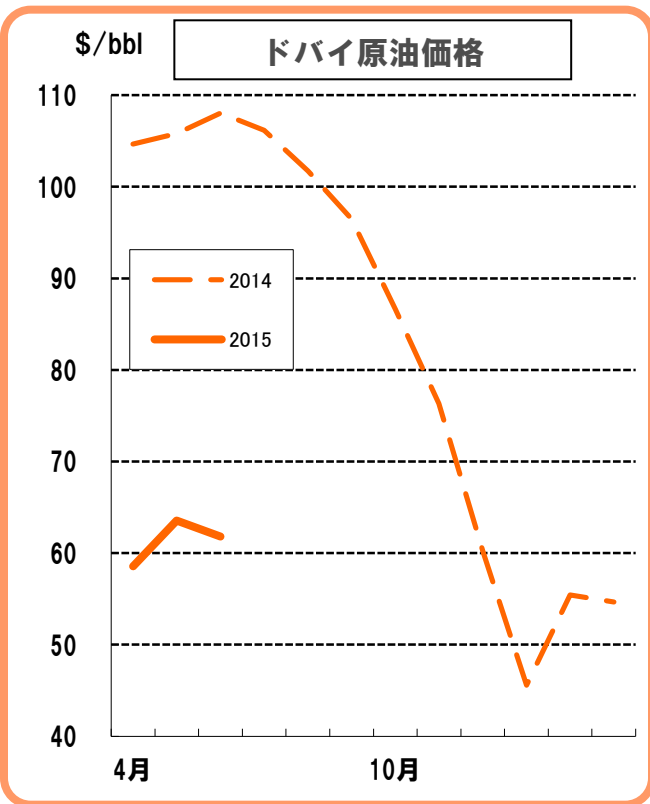


2015年度 第1四半期決算
(2015年4月1日～2015年6月30日)

事業環境①（2015年4月～2015年6月）

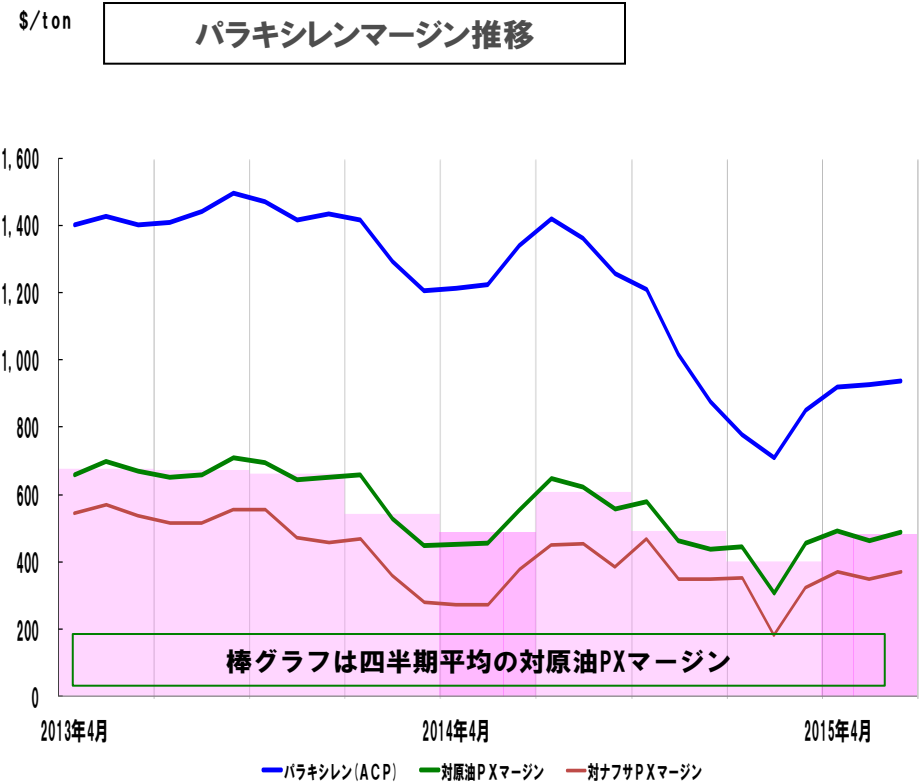
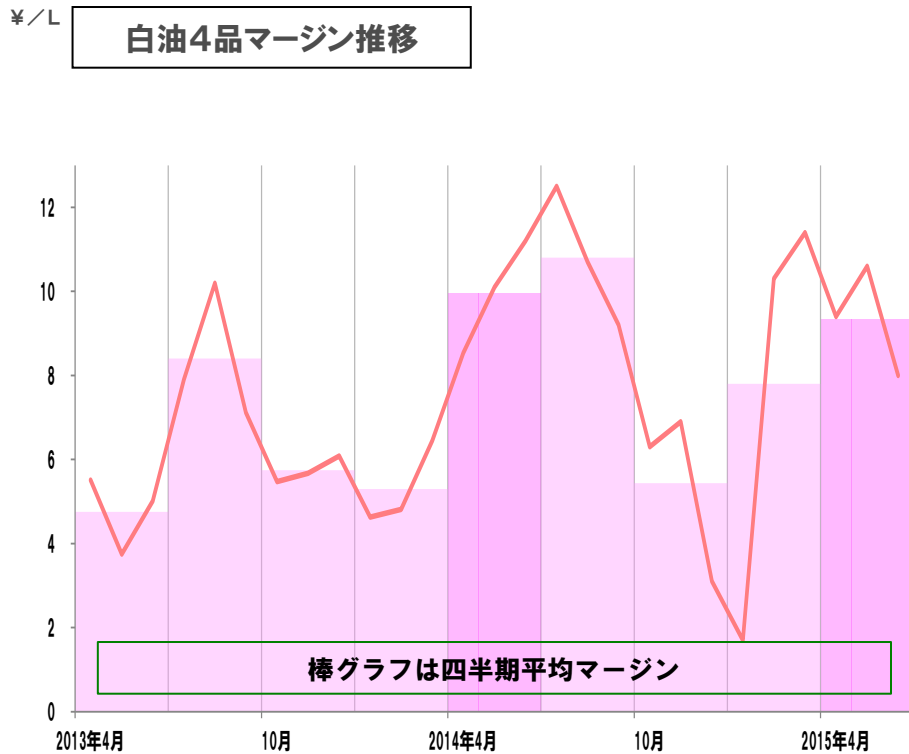


- 原油価格はバレルあたり60ドル近辺で推移
- 銅価格は中国の景気減速懸念等を背景に、総じて低位で推移
- 為替レートは小幅上昇



事業環境② 白油4品・パラキシレンマーゼン推移

➤ 白油4品・パラキシレンマーゼンは概ね前年同期並み



* スポット価格—全国通関原油C I F (石油税・金利含み)

* ACP未決の月については、スポット価格の平均値を使用

2015年度 第1四半期決算概要 (前年比)

* 3月から5月の平均(≒到着ベース)

原油代(トハイ) (\$/B) *

銅 価 (¢/lb)

為替レート (¥/\$)

売上高

営業利益

営業外損益

経常利益

(うち在庫影響)

在庫影響除き経常利益

特別損益

親会社株主に帰属する当期純利益

2014年度 第1四半期 (実績)

105

暦年ベース	
(319)	308

暦年ベース	
(103)	102

(億円)

26,409

27

122

149

(20)

129

155

142

2015年度 第1四半期 (実績)

59

暦年ベース	
(264)	275

暦年ベース	
(119)	121

(億円)

23,041

797

173

970

(145)

825

▲41

533

差 異

▲46

▲44%

暦年ベース			
(▲55)	▲33	(▲17%)	▲11%

暦年ベース			
(+16)	+19	(+16%)	+19%

(億円)

▲3,368

▲13%

+770

+2,852%

+51

+42%

+821

+551%

(+125)

(+625%)

+696

+540%

▲196

-

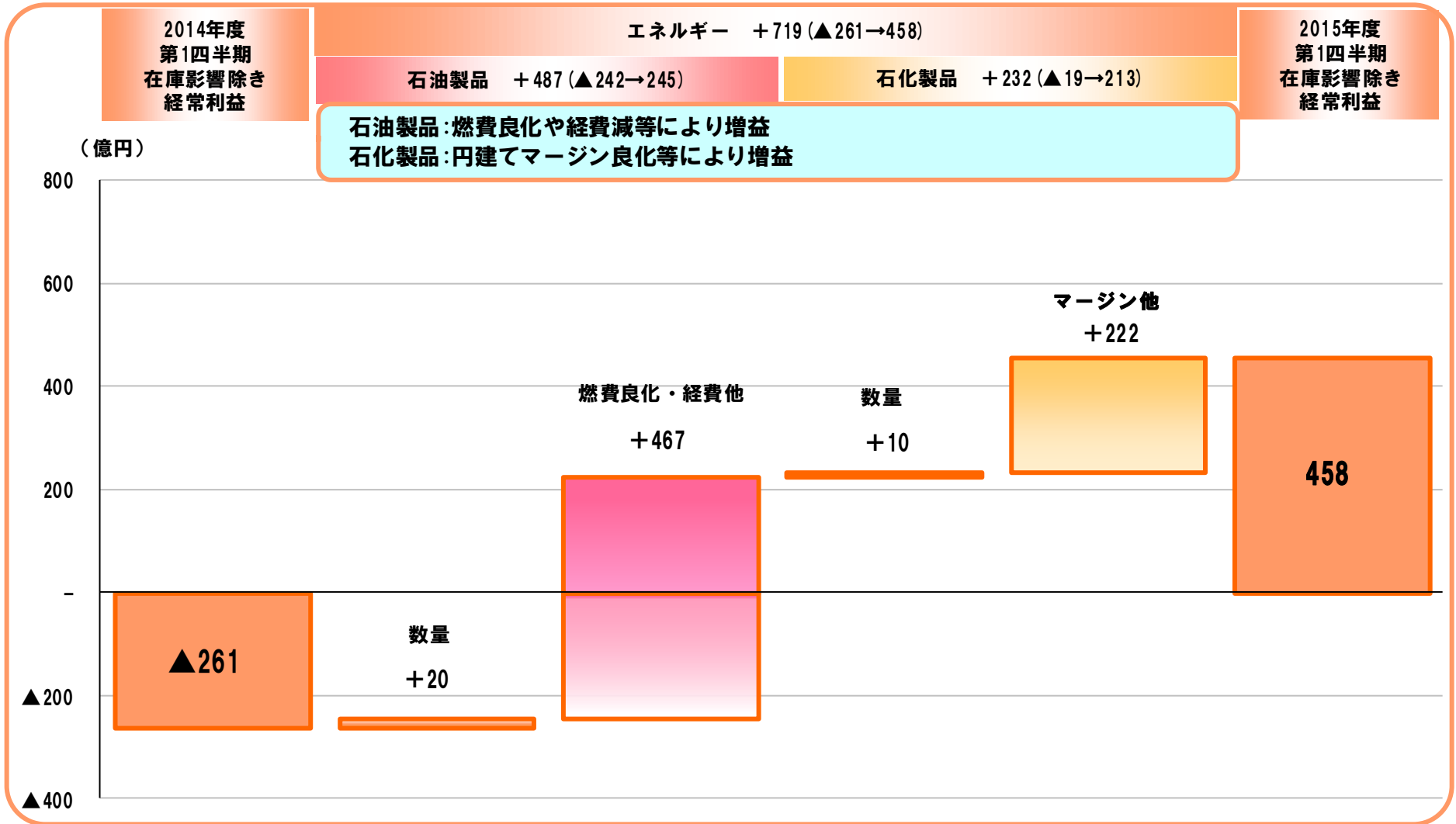
+391

+275%

2015年度 第1四半期 セグメント別経常利益 (前年比)

	2014年度 第1四半期 (実績)	2015年度 第1四半期 (実績)	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
エネルギー事業	▲243	603	+846	-
(うち在庫影響)	(18)	(145)	(+127)	+706%
在庫影響除き	▲261	458	+719	-
(うち石油製品)	(▲242)	(245)	(+487)	-
(うち石油化学製品)	(▲19)	(213)	(+232)	-
石油・天然ガス開発事業	200	123	▲77	▲39%
金属事業	97	156	+59	+61%
(うち在庫影響)	(2)	(0)	(▲2)	-
在庫影響除き	95	156	+61	+64%
その他	95	88	▲7	▲7%
経常利益 計	149	970	+821	+551%
在庫影響除き	129	825	+696	+540%

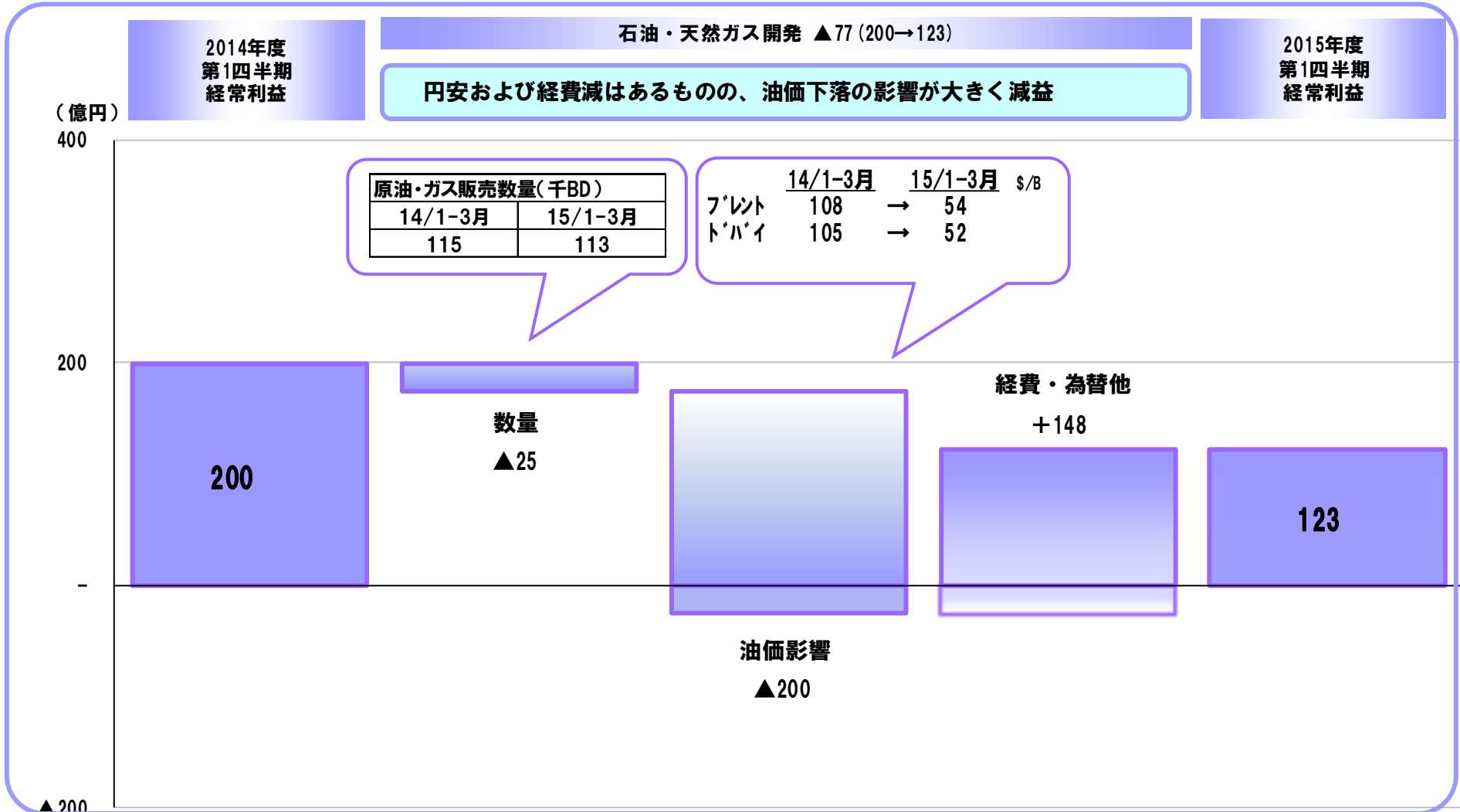
2015年度 第1四半期 エネルギー事業 経常利益増減 (前年比)



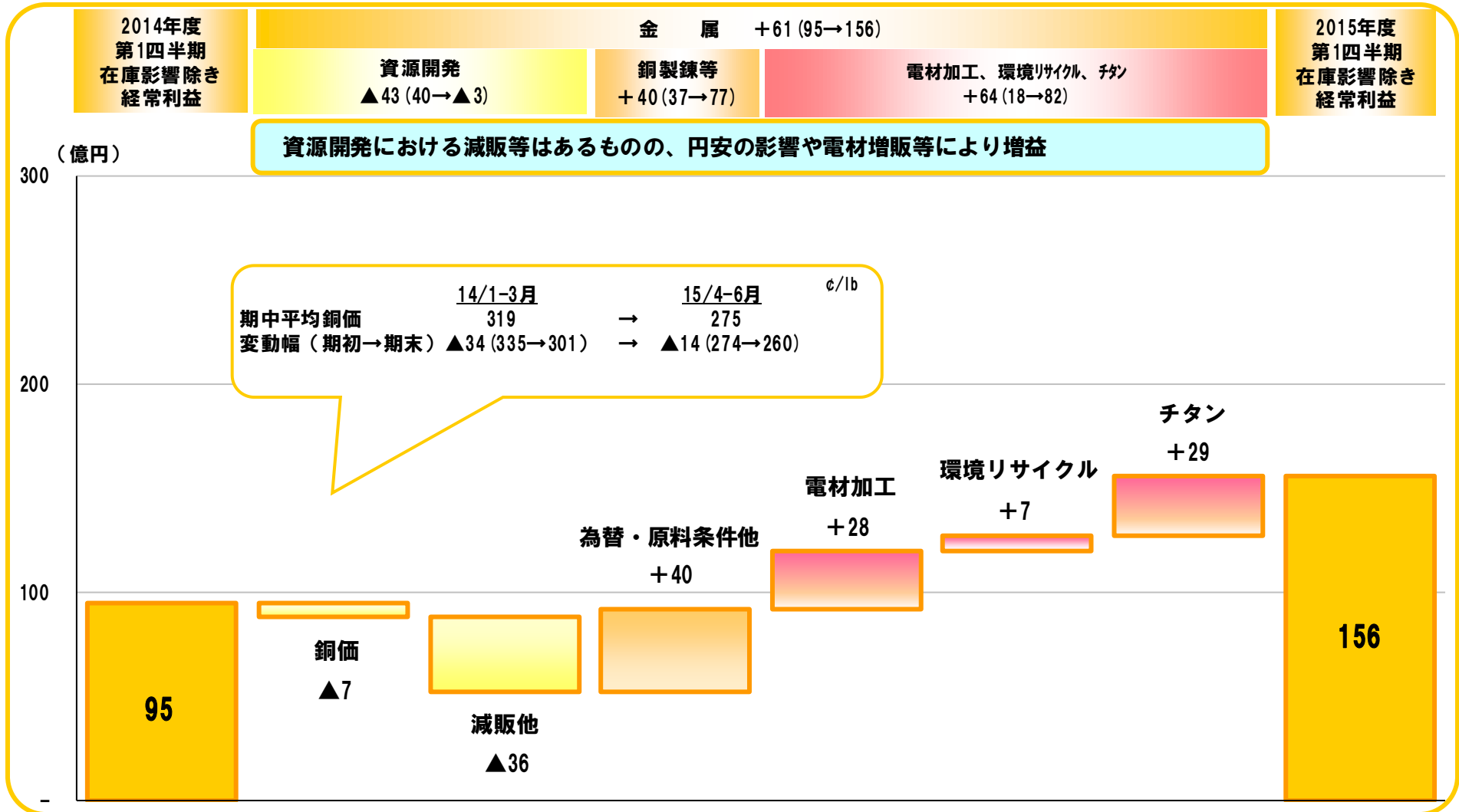
2015年度 第1四半期 石油・天然ガス開発事業 経常利益増減



(前年比)



2015年度 第1四半期 金属事業 経常利益増減 (前年比)



2015年6月末 連結バランスシート

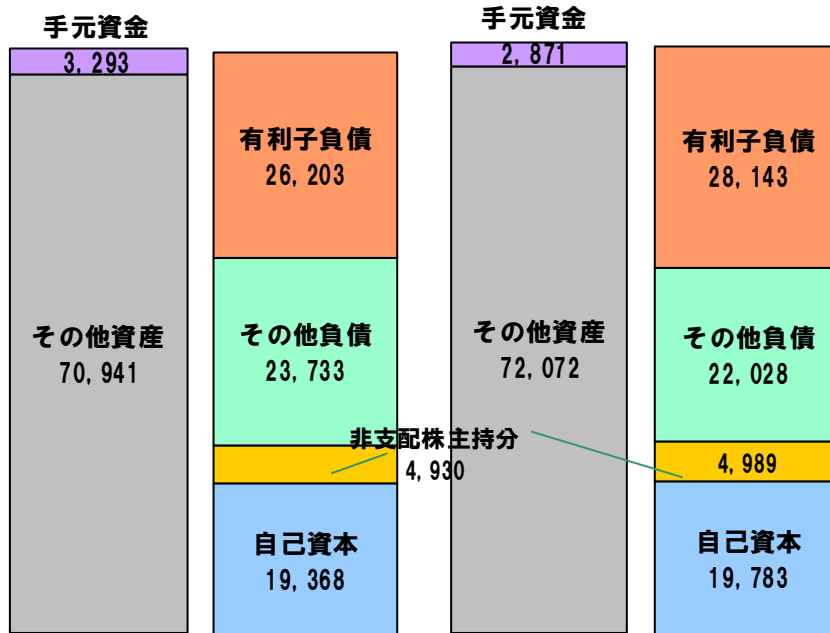
2015年度 第1四半期 連結キャッシュフロー

連結バランスシート

(億円)

総資産：74,234

総資産：74,943



2015年3月末

2015年6月末

	2015年3月末 (実績)	2015年6月末 (実績)
自己資本比率	26.1%	26.4%
ネットD/Eレシオ	1.18	1.28

手元資金を除いた
ネット有利子負債は
2,362億円増加
(ネットキャッシュ
フローのマイナス
[▲2,297億円]等により)

連結キャッシュフロー

(億円)

経常利益	970
減価償却費	548
運転資金	▲1,626
(揮発油税等納付 月ズレ影響)	(▲1,124)
法人税他	▲805
営業キャッシュフロー	▲913
投資キャッシュフロー	▲1,082
フリーキャッシュフロー	▲1,995
配当他	▲302
ネットキャッシュフロー	▲2,297

2015年度上期決算見通し (2015年4月1日～2015年9月30日)

- ✓ 2015年7月以降の見通し前提は、原油価格60ドル/バーレル、銅価270セント/ポンド、為替レート120円/ドル

* 上期の業績予想は、前回公表（2015年5月11日）を見直しています。
通期の連結業績予想については、前回公表を据え置いています。

セグメント別経常利益	(参考)前回公表	
	2015上期見通し	2015通期見通し
エネルギー	670	1,530
開発	150	300
金属	230	710
その他	150	360
小計（在庫影響除き）	1,200	2,900
在庫影響	200	200
合計	1,400	3,100

2015年度 上期見通し 概要 (前回見通し比)

* 3月から8月の平均 (≒到着ベース)

原油代 (ト'ハ'イ) (\$/B) *

銅 価 (¢/lb)

為替レート (¥/\$)

売上高

営業利益

営業外損益

経常利益

(うち在庫影響)

在庫影響除き経常利益

特別損益

親会社株主に帰属する当期純利益

2015年度
上期見通し
(5月公表)

59

暦年へ-ス	
(267)	270

暦年へ-ス	
(117)	115

(億円)

46,100

1,100

300

1,400

(200)

1,200

▲30

700

2015年度
上期見通し
(今回)

60

暦年へ-ス	
(269)	272

暦年へ-ス	
(120)	121

(億円)

47,300

1,150

250

1,400

(200)

1,200

▲50

700

差 異

+1

+2%

暦年へ-ス	
(+2)	+2

暦年へ-ス	
(+1%)	+1%

暦年へ-ス	
(+3)	+6

暦年へ-ス	
(+3%)	+5%

(億円)

+1,200

+3%

+50

+5%

▲50

▲17%

±0

-

(±0)

(-)

±0

-

▲20

-

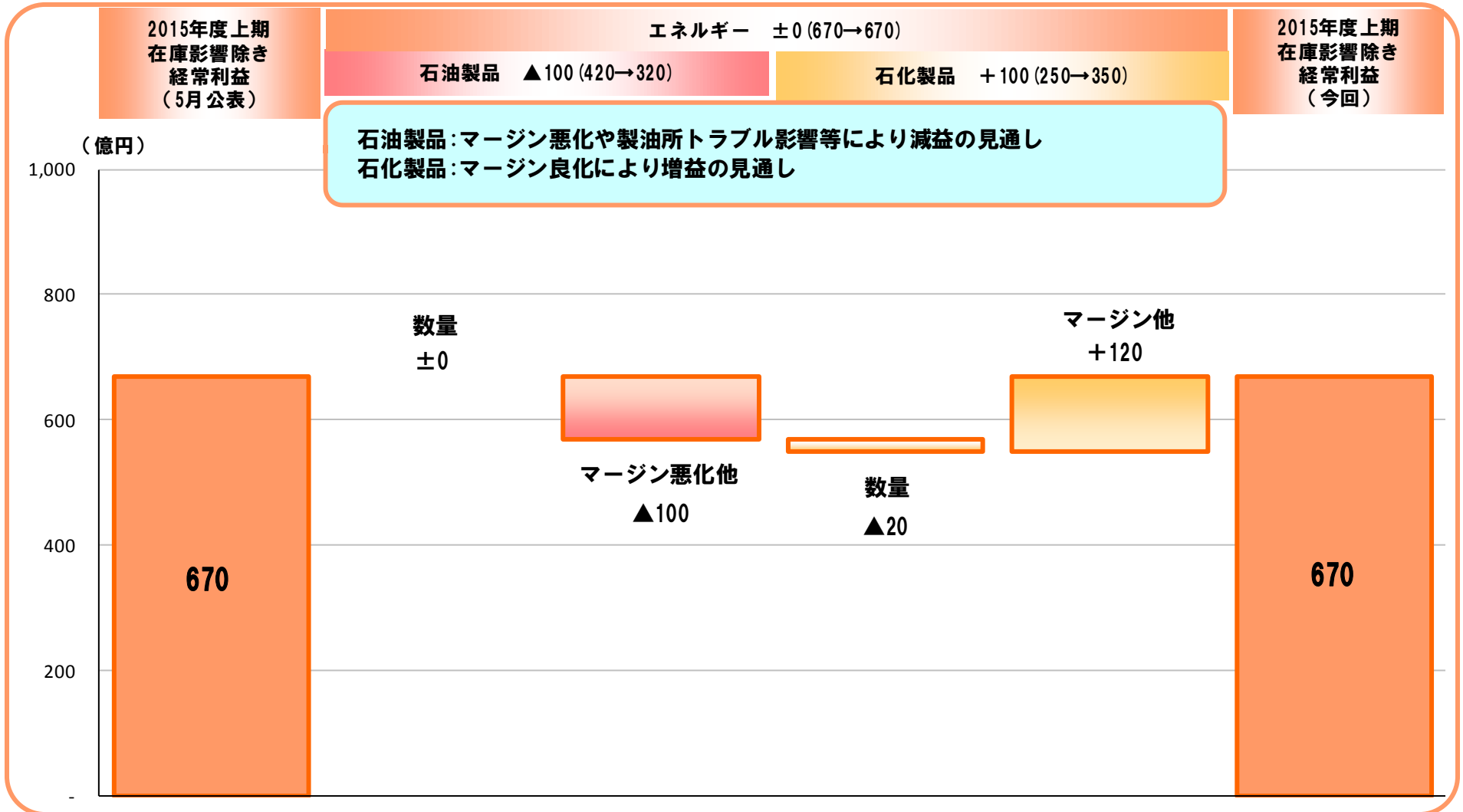
±0

-

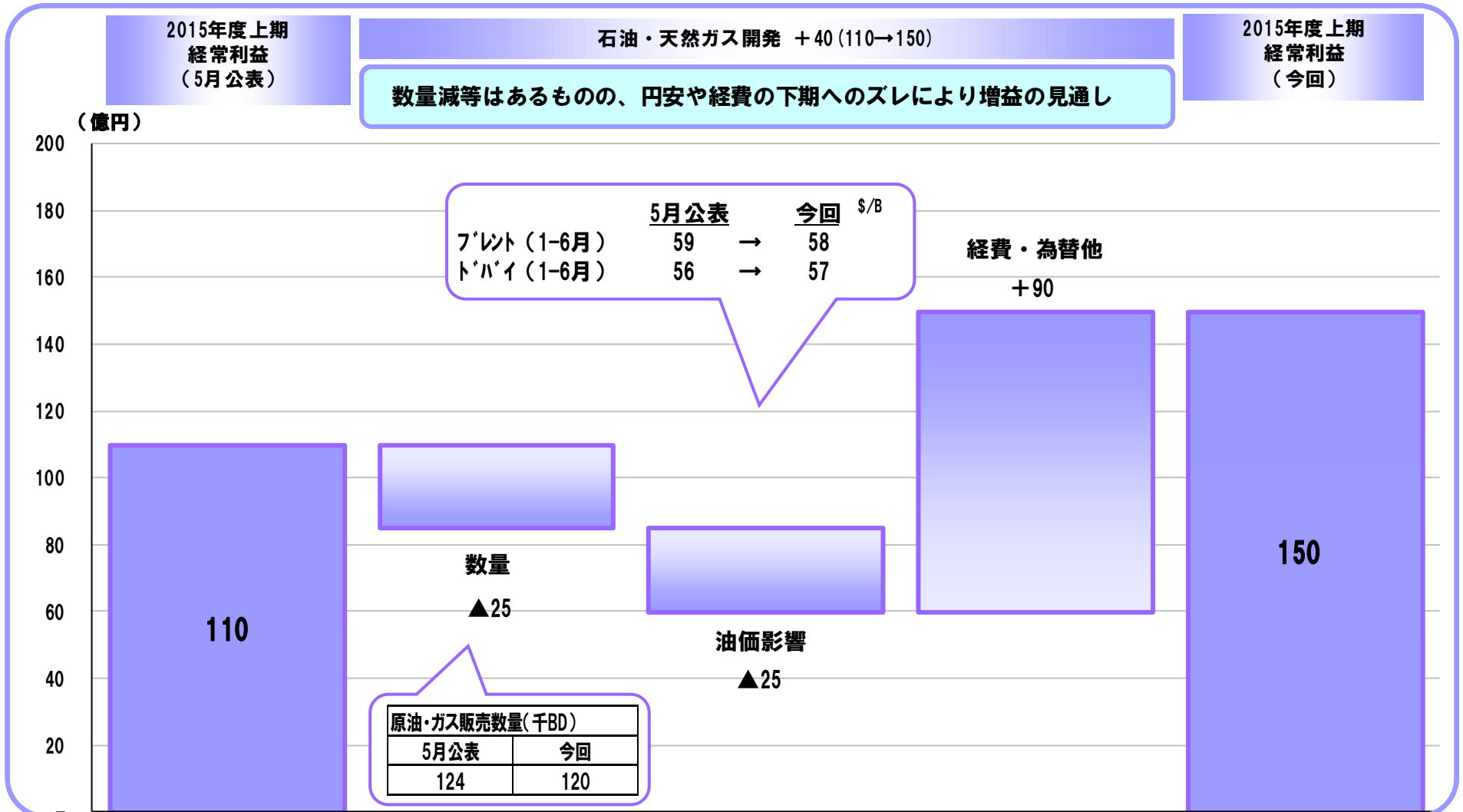
2015年度 上期見通し セグメント別経常利益（前回見通し比）

	2015年度 上期見通し (5月公表)	2015年度 上期見通し (今回)	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
エネルギー事業	870	870	±0	-
（うち在庫影響）	(200)	(200)	(±0)	-
在庫影響除き	670	670	±0	
（うち石油製品）	(420)	(320)	(▲100)	▲24%
（うち石油化学製品）	(250)	(350)	(+100)	+40%
石油・天然ガス開発事業	110	150	+40	+36%
金属事業	290	230	▲60	▲21%
（うち在庫影響）	(-)	(-)	(±0)	-
在庫影響除き	290	230	▲60	▲21%
その他	130	150	+20	+15%
経常利益 計	1,400	1,400	±0	-
在庫影響除き	1,200	1,200	±0	-

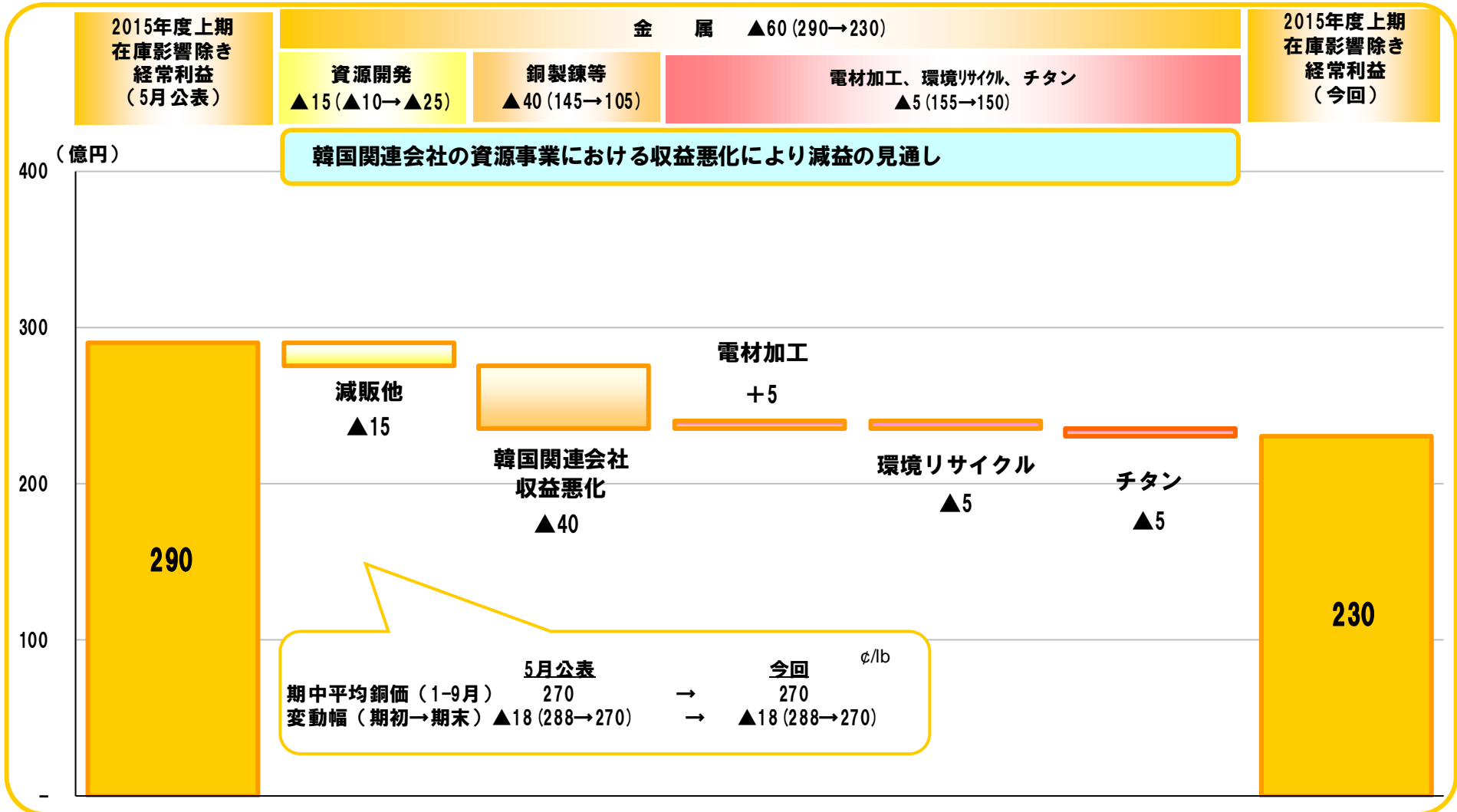
2015年度 上期見通し エネルギー事業 経常利益増減 (前回見通し比)



2015年度 上期見通し 石油・天然ガス開発事業 経常利益増減 (前回見通し比)



2015年度 上期見通し 金属事業 経常利益増減 (前回見通し比)



主なトピックス（2015年4月～2015年7月）

JXHD

5月 2016年1月より中核事業子会社の商号から「日鉱日石」を除くことを決定

JXエネルギー

4月 八戸および釧路LNGターミナルが商業運転を開始

6月 川崎天然ガス発電所が計画段階環境配慮書を送付、増設の本格検討を開始

JX開発

4月 マレーシア・サバ州深海R鉱区で原油を発見

JX金属

5月 新めっき技術「ハイパーティン」を開発

5月 リスクマネジメント体制の一層の強化を目的とした組織改正を実施

前提条件

	2014年度			2015年度		
	1Q	上期	通期	1Q	上期	通期
	実績	実績	実績	実績	見通し (7月公表)	見通し (5月公表)
共通						
	為替レート (円/ドル)	102	103	110	121	121
エネルギー						
	ドバイ原油価格<年度> ^{*1} (ドル/バーレル)	105	105	88	59	60
石油・天然 ガス開発						
	原油換算販売数量 (千バーレル/日)	115	112	115	113	120
	ブレント原油価格<暦年> (ドル/バーレル)	108	109	99	54	58
金属						
	銅価格LME (セント/ポンド) ^{*2}	319	314	311	275	272
	銅鉱山権益生産量 (千トン/期・年) ^{*2}	33	65	148	39	97
	PPC銅販売量 (千トン/期・年)	152	307	623	144	314
	圧延銅箔販売量 (千km/月)	4.0	4.0	4.1	5.0	4.9
	精密圧延品生産品販売量 (千トン/月)	3.7	3.8	3.8	3.7	3.9
	環境リサイクル金回収量 (トン/期・年)	1.3	3.0	5.9	1.6	3.6

*1 到着ベース *2 決算期変更により、2014年度1Qは1-3月・上期は1-6月・通期は1-12月、2015年度1Qは4-6月・上期は4-9月・通期は4-3月。

感応度

■前提条件（2015年7～9月）

為替：120円／ドル 原油：60ドル／バーレル 銅価：270セント／ポンド
 （ドバイスポット）

■市況変動による2015年度上期経常利益への影響額（3か月間の影響額）

項目	変動幅	変動項目	(億円)	
			影響度	
為替レート	5円/ドル 円安	エネルギー（燃費増、石化マージン良化等）	(+)	10
		石油・天然ガス開発	(-)	20
		金属	(+)	10
		小計	(±)	0
		在庫影響	(+)	150
		合計	(+)	150
原油FOB (ドバイスポット)	5ドル/バーレル 下落	エネルギー（燃費減等）	(+)	25
		石油・天然ガス開発	(±)	0
		小計	(+)	25
		在庫影響	(-)	450
		合計	(-)	425
銅価 (LME)	10セント/ポンド 下落	金属	(-)	20
		合計	(-)	20

*石油・天然ガス開発、金属は1～6月の市況を上期決算見通しに織り込んでいます。

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化、
- (3) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。